

<市立保育園の園舎設置年と存続方針案>

	園名	設置年	耐震	存続方針（案）
1	中央保育園	昭和 51 年（平成 2 年増築）	無し（増築部分のみ有り）	閉園 ただし、当分の間は存続
2	あすなろ保育園	昭和 54 年	無し	令和 5 年度閉園予定 （令和 6 年 3 月）
3	富奥保育園	平成 4 年（平成 13 年、18 年増築）	有り	存続
4	御経塚保育園	平成 7 年（平成 17 年増築）	有り	存続
5	押野保育園	平成 11 年	有り	存続

今後の市立園の在り方：（仮称）押野ほのみこども園の開園後においても、あすなろ保育園や中央保育園の閉園については、状況を注視しながら、子ども・子育て会議の意見をお聞きしながら慎重に判断する。

将来的には、市内の基幹園としての役割や、セーフティーネットとしての役割、入園を希望する児童数の増減に対応する機能を担う園として、3 園（押野保育園、富奥保育園、御経塚保育園）を存続させる。

<あすなろ保育園の閉園にむけて>

新規で入園を希望する保護者は少なく、市全体での確保方策も十分見込めるため、令和 5 年度末の閉園にむけて、令和 3 年度から段階的にあすなろ保育園の受入人数を減らしていく。ただし、0～5 歳人口の推移や保育ニーズの増加に対して、柔軟に対応できる体制を維持しながら慎重に実施する。